

CASBEE-建築(新築)2014年版
 (仮称)木津川市内認定こども園新築計画

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

スコアシート

実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 建築物の環境品質						2.8
Q1 室内環境			0.40			2.8
1 音環境		2.6	0.15			2.6
1.1 騒音		3.0	0.40			
1.2 遮音		3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		3.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.20			
2 温熱環境		3.0	0.35			3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50			
1 室温		3.0	0.60			
2 外皮性能		3.0	0.40			
3 ゾーン別制御性		3.0	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20			
2.3 空調方式		3.0	0.30			
3 光・視環境		3.0	0.25			3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30			
1 昼光率		3.0	0.60			
2 方位別開口		3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30			
1 昼光制御		3.0	1.00			
3.3 照度		3.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25			
4 空気質環境		2.8	0.25			2.8
4.1 発生源対策		3.0	0.50			
1 化学汚染物質		3.0	1.00			
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.33			
2 自然換気性能		3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33			
4.3 運用管理		2.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50			
2 喫煙の制御		1.0	0.50			
Q2 サービス性能			0.30			3.0
1 機能性		3.0	0.40			3.0
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性		3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00			
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30			
1 広さ感・景観		3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0	-			
3 内装計画		3.0	0.50			
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30			3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の2種類以上が耐用年数40年以上を使用	5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20			

2.4 信頼性			2.8	0.20			
1	空調・換気設備		3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		2.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.1	0.30			3.1
3.1 空間のゆとり			3.4	0.30			
1	階高のゆとり		3.0	0.60			
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率: 2.0	4.0	0.40			
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30			
3.3 設備の更新性			3.0	0.40			
1	空調配管の更新性		3.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30			3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.60	5.0	0.20			5.0
2 自然エネルギー利用		トップライト, 自然通風	4.0	0.10			4.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.72 住宅(専有部) 0.83	4.0	0.50			4.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)		BEI=0.72	4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)							
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
集合住宅の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.20			3.4
1.1 節水		節水型便器, 自動水栓の採用	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.60			3.5
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		タイル, ビニル床材, 屋外用品(デッキ), 断熱材	5.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		外壁: GL工法	4.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20			3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用		ビニル床, 壁紙, フローリング, 塗膜防水	5.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70			
1 消火剤			-	-			
2 発泡剤(断熱材等)		押出法ポリスチレンフォーム	4.0	0.50			
3 冷媒			3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		積極的な省エネルギー対策	3.2	0.33			3.2
2 地域環境への配慮			3.0	0.33			3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 交通負荷抑制		敷地内駐車(25台), 駐輪(12台)の確保	5.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	0.33			
2 振動			3.0	0.33			
3 悪臭			3.0	0.33			
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制			3.0	0.70			
2 砂塵の抑制							
3 日照障害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインチェックリスト項目の過半を満たしている	5.0	0.70			
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			